

体験を通し実際の力につなげる

副校長 松井 栄人

保護者の皆様には、9月早々の総合防災訓練（引渡し訓練、宿泊防災訓練）に御協力いただき、ありがとうございました。防災への取組みは、実際の状況を想定し、地域・関係機関や保護者の皆様からの御意見を参考に、互いに協力し合いながら継続して取り組むことが必要です。今後も地域・関係機関と連携し、児童・生徒の安全・安心をどのように守るかに重点を置いて訓練を進めていきます。宿泊防災訓練時にも実施した「起震車体験」、11月には「煙体験ハウス」など、実際の被災状況を模擬的に体験する訓練も行っています。忌憚のない御意見をお願いいたします。

9月20日（水）から22日（金）までの3日間、中学部2年生の移動教室に行っていました。保護者の皆様には荷物等の準備や送迎等、様々な御協力をいただき本当にありがとうございました。生徒たちは多摩六都科学館の見学や高尾山への登山、タイダイ染めなどいろいろな体験に取り組み、日頃学んできたことを学校を離れた生活の中で生かす経験を通して多様な力を身に付け、実社会で生かすことのできる力へと伸ばす一歩になったことと思います。卒業後の自立した生活を常に視野に入れてできることを増やし、できることを一つずつ確かなものとしていくことは、将来の生活につながっていきます。

また、9月末に行いました個別面談では御多用の中、御出席いただきありがとうございました。貴重な御意見を伺うことができました。後期個別指導計画を再度ご確認ください、学校の取り組みと照らし合わせて児童・生徒一人一人が身に付けた力を、日々の生活に生かしていけるようになっているかという観点でもご覧いただければと思います。これからも御協力をお願いいたします。

一泊二日宿泊防災訓練

生活指導部 小川 雅慎



本校で初めての取り組みとなる「一泊二日宿泊防災訓練」を9月8日（金）、9日（土）に中学部1年が実施しました。「全体会」では、東京消防庁城東消防署大島出張所長、警防課地域防災担当、大島中央町会災害協力隊、城東消防団第四分団の方々に参加していただき、消防署の地域防災担当の方に講話していただきました。起震車・消火器訓練、防災備蓄品作動訓練を行う「防災訓練」では、生徒一人一人が消防署の方々の説明を真剣な眼差しで聞き、積極的に参加していました。避難所設営訓練では、生徒が自分の寝床作りのためにマットや毛布を運び、会議研修室に敷き詰めました。また、災害備蓄食料品の食事体験では、夕食でカレーライスを、朝食で五目御飯とオニオンスープを美味しく食べていました。電気・ガス・水道等の全面停止訓練においては、ヘッドライトを装着して、真っ暗な廊下を勇気を出して一人で歩ききりました。

地域や保護者の方々の御協力もあり、本校教職員や生徒にとって大きな災害に備えるための非常に良い経験となりました。今後もより良い防災対策に努めます。

